

340

對日中間賠償案決す
昭和二十一年五月十五日



十一社
を指し
定し
造兵廠
航空機
輕金屬
を徵発す



年度平均	實量	活動量 必要量	一人一日當	
			生命維持量	新陳代謝 基礎量
1911 1915)	2,131	2,000 乃至 2,160 (四合三勺)	1,420 (二合八勺)	2,092 (二合二勺)
1921 1925)	2,377			
1931 1935)	2,265			
1941 1945)	1,992			
1946	1,325			



3402

日本のカロリー攝取狀況
昭和二十一年五月十五日



総人口

総人口	73110995	
男女	男	34903265
	女	38207730
農非農	農	34339693
	非農	38571302
市郡	市	22204223
	郡	50906772

重要都市人口

東京	4183072
横浜	706557
名古屋	719352
京都	914655
大阪	1293501
神戸	443344
広島	171902
福岡	288794

都會の人口は
減つたが全国
の人口は案外
減らぬ。

3403

総人口七千三百有餘萬人

昭和二十一年五月十九日



3404

新内閣難産

昭和二十一年五月二十日



吉田茂の陣痛、
いつ産れるか、
欲しい奴
には逃げ
られ、
欲しくもない
奴には取り
捲かれ
る。



3405

奇異なる吉田内閣成る

昭和二十一年五月二十二日



總理 吉田
 國務省 植原
 國務省 水村
 法省 幣原
 國務省 石橋
 藏相 大村
 内相 田中
 文相 星島
 商相 河合
 厚相 平塚
 運輸相 和田
 外農相 吉田

「アス蝙蝠が内閣成立
のビラを唱へて
来たよ。」



「内閣變遷復
を示す蝙蝠だ
面白
さ。」

「前代未聞の
内閣は
無い間
だ。」

3406

珍らしき大雷雨

昭和二十一年五月二十三日



昨年同月
廿五日大空
襲を追懐
して懐々君
限りありし、
都城の落
雷數個穴
かした、



3407

皇族の特権の停止

昭和二十一年五月二十四日



閑院 秩父 高松
 三笠 東伏見 伏見
 山階 久邇 東久邇
 北白川 梨本 竹田
 朝香 賀陽の十
 四宮家は総て
 の特権を剝脱せ
 られたる。

十四宮家の財産
 は総計五千万円
 以上、宮家の名譽
 職としてこの報酬
 は、毎年皇室費
 より二百万円を
 支出せらる。これ
 等の經費は停
 止せざるべからず
 と言ふのである。



3408

秋まで凌げるか

昭和二十一年六月二日



「夏から秋まで凌
げます様にお願い
申します。僅か
おから裏の畑の
野菜と果実
で、一家の生
命をつ
お助け
まおう
様に……」



3409

隠匿長者と貧民

昭和二十一年六月八日



隠匿長者

「何處も同じ

飢饉じや。

米が無いのは

仕方が悪い。

我慢して

難関を切り

ぬける様に

注意し

あさい。

貧民

「馬鹿野郎!

貴様の臍

くり金は何

千萬円か。毎

日酒池肉林の

贅沢のくせに。

何處にも米は

無いから仕方が

悪い。餓死をぬ様は注



意しろよ。何事だ。馬鹿野郎!

3410

全國失業者四百萬人

昭和二十一年六月八日



東京	422	福島	77	山梨	42
大阪	280	茨城	73	奈良	40
兵庫	206	岡山	73	佐賀	40
愛知	202	愛媛	73	岩手	38
神奈川	153	三重	73	秋田	38
福岡	142	岐阜	71	青森	37
北海道	142	長崎	67	富山	37
廣島	135	和歌山	65	福井	33
靜岡	128	熊本	63	滋賀	33
京都	106	宮城	55	島根	33
長野	97	香川	53	高知	33
千葉	96	鹿兒島	53	宮崎	31
栃木	91	徳島	47	鳥取	26
新潟	87	山形	46		
山口	86	石川	44		
群馬	84	大分	43		

單位 一千人
引揚人ヲ合セ四百五十万人

3412

國民政府を愚弄するか
政府國民を侮辱するか
昭和二十一年六月十二日



「何處へ行くんだ、
道を間違
つたか、
間拔
けめ。」



「地獄へ落ち
てやるんだ、
間拔
けめ。」



3413

農村

都會は地獄農村は極樂

昭和二十一年六月十三日





3414

五年後の夢

昭和二十一年六月十七日





3415

民主議會初日から乱闘
昭和二十一年六月二十二日



3416

科學の威力全世界を滅す

昭和二十一年六月二十六日



⊕ 原子爆彈
實驗
幻視漢談
術見

太平洋の
眞中の
ヒキニ
環礁⊕

3417

教員困窮萬餘名退職

昭和二十一年六月二十九日



「学校先生の
月給二三百円
乃至五六百円で
どうして生活が出
来るものか。少しも
のきいた奴は月に一萬
円値は持ぐんだから、
僕等も学校教員を
やめて……さあ何をしようか、



遊ける人

自一月一日
至六月三十日

昭和二十一年六月三十日



伊木常誠

島安次郎

鳩山秀支三村川堅固三南弘六

遠藤隆吉

中村時之助六

安藤郷安

木村鹿六

山下奉文

瀧川龜太郎八二堀江秀雄三原田熊雄六

大井清一

山田新一郎三鈴木文治三小田切忠治三島賀陽然良七二関根金次郎九黒田重徳四三

本間雅晴

近藤十郎

大島伯鶴

市川彦太郎五二内田祥文三三倉橋藤治郎六

安藤和吉

宮入慶之助

岩波茂雄六六谷脇素文六九水島随順七二

尾崎勇次郎

今村新吉

大森洪太六片岡安七三

土屋純一

太田常正

河上肇六八松岡洋右六

3419

男子青年學校生徒の希望

昭和二十二年七月一日
(東北青年の心理)

米沢市青年學校生徒
希望の學科(三二四名)

英語	八九	電氣	五二
科學	四五	音樂	三九
農業	二九	自動車	一八
体操	一七	珠算	一五
機械	六	數學	四
ラヂオ	三	社會製圖	各二
高業・工學・國語	各一		

同希望運動(二八一名)

野球	八五	水泳	四七
卓球	三八	排球	三四
登山	三一	陸上競技	一一
庭球籠球	九	相撲	七
スキー蹴球	五		



3420

郵便の検査

昭和二十一年七月一日



RP-5

OPENED BY

MIL. GEN.- CIVIL M

一字一句を検査の爲め配達
 は地方おら二週
 間帝都内で敷
 日を費すの
 困る。郵便は勇
 敏であり度
 が遊便か悠便
 が或は憂憫や
 幽民もあるかも
 知らぬ鬼に用
 困るのである。

郵便料納金

RELEASED BY CENSORSHIP

本郷... (Handwritten Japanese text)

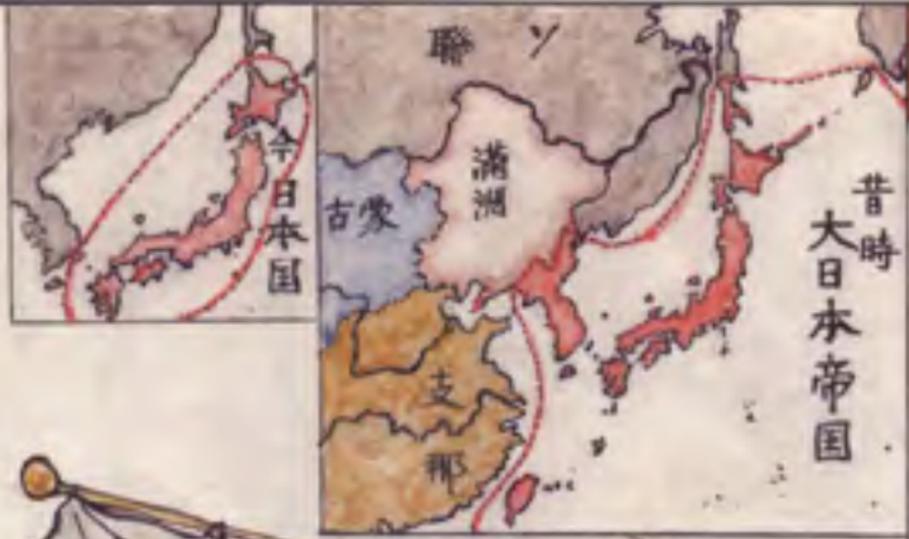
3421

大日本帝國消滅して

日本國とある 昭和三十二年七月廿日



昔時
大日本帝國



日本國



3422

米國米穀を日本に送る

昭和二十一年七月十五日



米
食糧品を
澤山持つ
て来た
よ。



日
有り難う
ございます、
又何度も送
つて下さいね。



3423

七十二年目の炎暑者
毎日三十五度の気温

昭和二十一年七月十七日



「叔父さん、
この熱さで
は全く閉口
ですあ、毎日
三十五度……」

「馬鹿……！
三十五度は
産丸
護士だ
よ、
秋の収
獲は必條
である、」



3424

郷里に歸る復員

昭和二十一年七月二十一日



「あゝ情けあや
根めしやふ。
五ヶ年かけて
生死の境を
蠻地にた
どり、
やうやく
祖国の
土地
を踏
めば、
嗚呼、何
といふ
この有
様、
あゝ懐
かしい郷里
には歸らぬ
方が
よかつた
ものを。」



3425

インフレ(陰布令)激騰

昭和二十一年七月二十六日



「本年度の豫算は五百六十億円のカボチャ式だと称す。

「それに追加を併せて七百億円位にナスト言ふ。

「結局約一千億円位にナルだろう。要するにへチマ的仕事さ。

「外皮堅く内容甘味の水性じやこの西瓜じやよ。



3426

一ヶ月収入の比較

昭和二十一年七月三十一日

除外 幽曇会社



盗賊

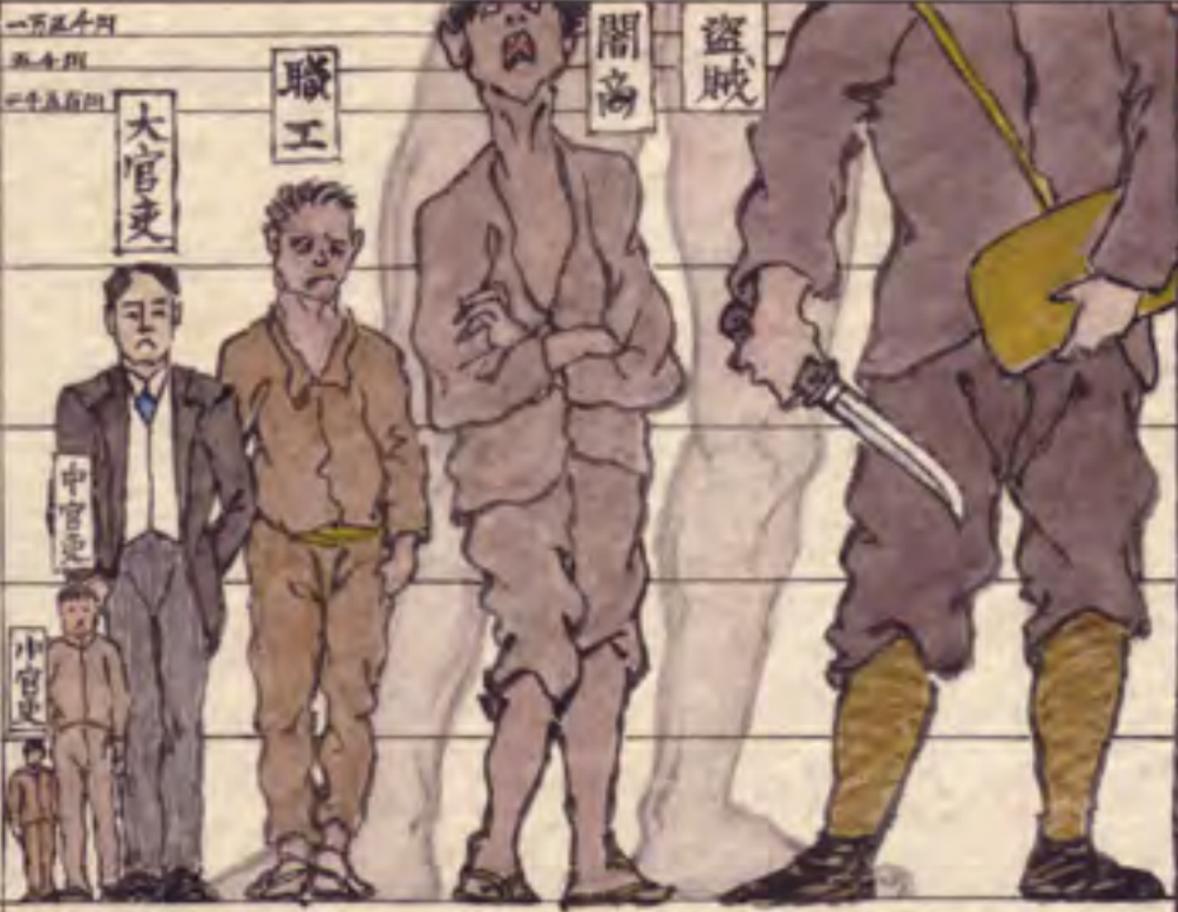
闇高

職工

大官吏

中官吏

小官吏



18000	一万八千円
15000	一万五千元
12000	一万二千元
9000	九千元
6000	六千元
3000	三千元
0	0円

3427

一喜二憂。一愧二勇

昭和二十一年八月三日

甚々か幻か



一愛一喜
一飢一裕
一危一祐
一喟一悠
一愧一勇

「...」国民の負擔は巨額とあるが、己かを得ふい。觀念致せ。

「困り」ますか

「あの問題は再調査によれば、

国民の負擔は全く無くある。安心致せ。

「有り難い」ふございませう



3428

戦死者百七十萬人餘
日華事変以來終戦マデハ
昭和二十一年八月九日



陸軍

戦死 七二五〇七六

海没 五二〇〇〇

計 七七七〇七六

海軍

日華事変 二八〇

太平洋戦争三九七一二〇

計 三九七四〇〇

苔に蒸され

水に浸さる

靈魂

あはれ。

いつか

御国に

かえり

行くべき。



3429

引き揚邦人(ソ聯を除く)

昭和二十一年八月十一日



終戦直前在外人數

五九七二一五〇

廿年七月廿三日現在引上げ

四一一四五二九

未還者

一八四七六二一

豫定三ヶ年の短縮とありたるが米国

より艦船三〇〇隻を貸与せるに由る



ソ聯治下四地方の未還者。

四地方(滿洲・北鮮・千島・樺太)

北鮮

一二〇〇〇余

滿洲

九八〇〇〇余

樺太

四〇〇〇〇余

3430

封鎖預金の大改正

昭和二十二年八月十二日



無茶苦茶に通貨氾濫を起して經濟界を動搖し、憐れ純良なる國民をして些細の預金を封鎖せしめ、死地に陥らしめんことを日本目下の存亡は、學に非ず、藝に非ず、只だ財政に在り。

濡れまさる

涙の露の

珠はあれど

浮き世は暗し

身は照さじか



3431

農地制度根本的大改革

昭和二十一年八月十四日



国の強制買収

小作地一町歩以上
自小作地は三町
歩以上

昔し江戸幕府は

「百姓は生か
さず殺さず」生
かせば彼は幕府
府に抵抗して

来る殺せば米
穀を作る者が
無くなる

と豪語せり今
日由、

「百姓は生かさ
ず殺さず」兎に角
百姓を

半殺に
すべし
と言
ふので
あらう。

「町反敵も分らふいで
何の馬に
来た？」

「一寸待つて異状、
調べて来るよ。」



3432

無條件降参一年の成績

昭和二十一年八月十五日

成績



一 日本国去の減縮大日本帝国を停止し日本国とす。

二 軍を廢し兵を収む。

三 米國日本を占領し日本を懷柔す。

四 日本インフレインデックス怒涛の如く物價激騰。

五 全国民悉く昂奮、狂態亂舞、政治家無能。

六 封建を粉碎し、民主主義を誇張す。

七 官吏没落、虐待狼狽、狗盜縱橫。

八 米穀凶作、国民飢饉に斃るもの若干。

九 財政混沌、企業乱取、收拾すべからず。

十 米國日本の惨狀を見て厚意を示す。

嗚呼日本を亡ぼす者は
軍あり、軍に唆ふ者は
偽學者と奸商
あり、而して愚蒙
ある國民は奸商
と偽學者者は
籠絡せらる。
嗚呼日本を亡
す者は軍あり。



3433

闇行為は奇、明行為は否

昭和二十一年八月二十一日



闇行為
には
課税せず



この野郎
闇商買の所得ハ
一月何十萬円
だらうが、課税
御免の規則だ
から仕方がない



明行為
には
課税す

「おやく、最低
安月給の所得一、百
二三百円位でも
規則通りには課税
されるのか。」





3435

滿州より復歸

伊東祐信一家帰宅す
昭和二十一年八月二十五日



滿州胡蘆高



旅程

長春出発 七月十九日
 錦州着 七月廿一日
 北支管生集中營
 同發 八月十三日
 葫蘆島着 同
 同發 八月十五日
 博多着 八月十六日
 出發 八月廿四日
 東京着 八月廿五日



3436

溥儀 東京裁判

昭和二十一年八月廿九日



溥儀々々と言
はれるが不義で
はあい。

誣偽も浮戯も
やった事はあい。
腐敗のやうだ
ふとこは
負疑で

ある。

何事も

日本軍

部の命

に附隨

して、少
しも抵抗しお
かつた。

人は傀儡と言ふが、

それは悔懺でもあり、

狡猾でもあつた。





夫は便船
鬼餓破敏勇

昭和二十一年九月五日



3438

膏血を絞って鯨飲す

昭和二十一年九月八日



3440

ジエネストの大騒ぎ

昭和二十一年九月十五日



国鉄の、
ジエネストあとは、
ケチあもの、
何でも御座れ、
騒がせて
見る、

僕ふどは、
ジエネスト
ふんど、
馬の耳、

僕は国鉄、
ジエネスト
ばかり、
その外にない、
手は出さぬ、



344

武徳會解散

五十年の夢
昭和二十一年九月十五日



嗚呼武徳會
が解散されたか。
武徳殿を汚した
天罰覲面だ。



豊樂殿でブラついて
おテンの立喰、
大極殿で大黒の
お尻見物ふら、
ドンおまの
か？！



3442

全國戰栗

昭和二十一年九月二十三日



- 1 強姦致死
 - 2 強盜殺人
 - 3 誘拐毒殺
 - 4 強盜掠奪
 - 5 竊盜
 - 6 追刺
 - 7 詐欺
 - 8 狂亂
 - 9 囑喝
 - 10 惡戲
 - 11 自殺
 - 12 自殺未遂
 - 13 過失傷
- 東都每日死傷百餘件



3443

追放令に該當する者

調査七千数百人、該當八百九十九人
昭和二十一年九月廿六日



3444

三財閥本社を解散

昭和二十一年十月一日



三社
所有價證券総額

十六億九千七百万円(拂込済額)

三井

約三百年
榮祥

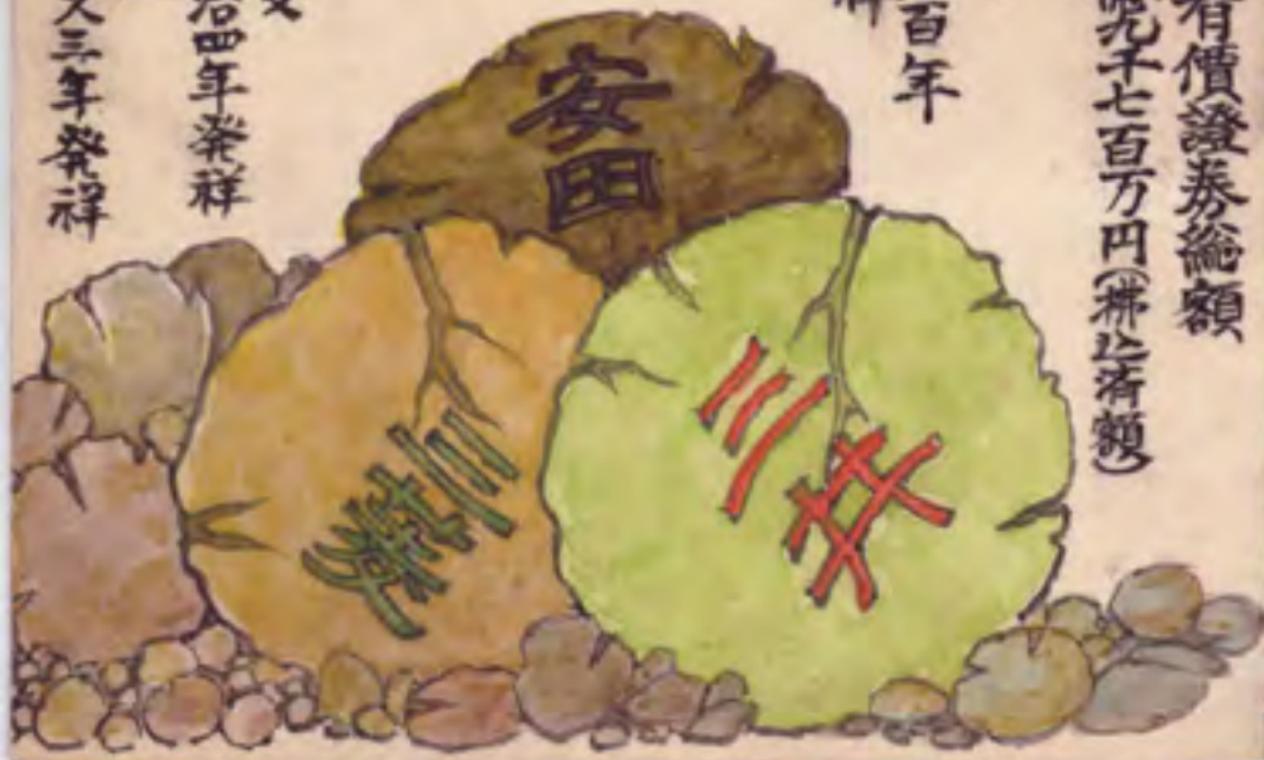
安田

三菱

明治四年榮祥

安田

文久三年榮祥



3445

獨逸ニルンベルグ國際軍事裁判

昭和二十一年十月三日



絞首刑

航空相

外相

軍幕僚長

保安隊長

哲學者

ポーランド總督

内相

ラシニア州總督

外人労働監督官

陸軍總司令官

オランダ總督

總務官房長

終身刑

副総統

経済相

海軍元帥

禁錮二十年

青少年團長

軍需相

禁錮十五年

外相

禁錮十年

海軍總司令

無罪放免

経済相

トルコ大使

宣傳省次官

ヘルマン

ゲーリング

ニアーヒム・フォン・リッペン

カイテル

エルンスト

カルテンブルンナー

アルフレッド

ローゼンベルグ

ハンス

フリック

ウイルヘルム

ユリウス

フリック

シュトライヒャー

グスタフ

ザウケル

アルトウール・ザイス

ヨードル

インクワルト

マルチン

ボルマン

ルドルフ

ハス

ワルター

ファンク

エーリッヒ

レーダー

バルドウイール・フォン・シーラッハ

シエパー

アルベルト

シエパー

フォン

ノイラート

カール

デーニッツ

ヒラルマー

シャハト

3446

日本國憲法改革完成

昭和二十一年十月八日



「この
新憲
法を
見せてつかはす。
これがあれど
帝國を鎮める
邦建オット日本を
治める劍宝である



「立派な劍宝
でがすが、中身
を拜見した
いものでがす
その劍宝で
御国中景
へるんだらう

「その劍をふり
舞はすと面白
いのでがすがね



3447

殺人魔小平 遊蕩鬼學生

昭和廿二年十月十一日



小平「お、まだ
二三十人の女を殺し
て見た斗りだ
が、どこも面白
くてたまら
ない。

學生

「學校でツマラ

ない勉強より、

食品を掠奪して食

こ居る方がどの位

面白いか知れまい。





1271 ヴェルダンに降る

1215 英王ジョンに
1299 元寇

1096 第一回十字軍

871 聖ペテロの門
915 聖ピエール門

1453 東ローマ帝国の
1492 コロンブスの発見
1498 新大陸の発見
1517 ルーヴル宮の完成
1530 コペルニクス
1538 エリザベス女王即位
1600 英東印度会社設立

1649 英国内戦の終結

1660 英国王政復古

1661 ヴェルダンに降る

1687 ヴェルダンに降る

1707 大不況の終結

1763 七年戦争の終結

1796 フランス革命

1802 領土の拡大

1863 産業革命

1897 露清戦争

中国 西洋

夏

南北朝

隋

唐

五代

宋

元

明

清

中華民国

朝鮮

高麗 百濟 高句麗

渤海

蒙古

高麗

朝鮮

日本

日本のあけほり

開行日本

平安京の時代

武家政治

鎌倉から室町へ

安土と桃山

江戸幕府

江戸と大坂

幕府の衰亡

明治の維新

一世の日本

大正から昭和へ

3449

八十回誕生日

昭和二十一年十月廿六日



天津岩根

八十路の

坂も

越え行かむ

御国の光り

輝くまで也



3450

正倉院開封

昭和二十一年十月二十七日



345

昭和二十一年十月二十八日

東京二十三區制案の人口面積



合計	統一標準定區			
	現在人口	理想計画人口	將來目標人口	面積(平方町)
麴町・神田	五七九八	八七,000	一〇〇,〇〇〇	一,三三八
芝・麻布・赤坂	一三,七九九	一六九,000	一八〇,〇〇〇	一七,二〇
品川・荏原	一八,一五八	一六〇,〇〇〇	一七八,〇〇〇	一五,九八
大森・蒲田	二六,六二五	二七二,000	二七五,〇〇〇	四三,五五
目黒	一四,八二九	一九〇,〇〇〇	一四六,〇〇〇	一四,七三
世田谷	三三,九九九	二二〇,〇〇〇	二八六,〇〇〇	六〇,七六
澁谷	一〇,三七六	一五〇,〇〇〇	一六二,〇〇〇	一五,二四
中野	一四,七二七	一七九,000	一八三,〇〇〇	一五,四一
杉並	二五,七二五	一六四,〇〇〇	二二五,〇〇〇	三〇,一〇
本郷・小石川	一,六七〇	二六,〇〇〇	二五,〇〇〇	一〇,九六
四谷・牛込・渡橋	一一,五九九	二二六,〇〇〇	二二一,〇〇〇	一八,五一
豊島	一七,五九九	一七八,〇〇〇	一八四,〇〇〇	一三,七六
板橋	二五,四八九	二〇八,〇〇〇	二三四,〇〇〇	八,六八
滝野川・王子	一七,二九九	一六七,〇〇〇	一七二,〇〇〇	二二,一八
下谷・浅草	一一,八七七	一四一,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一五,九一
足立	二〇,四七五	一五八,〇〇〇	一九八,〇〇〇	五三,五二
荒川	一〇,八五七	九二,八〇〇	一一四,〇〇〇	一〇,五七
本所・向島	一五,五六四	一五〇,〇〇〇	一五二,〇〇〇	一四,二八
深川・城東	四,五九九	一五九,〇〇〇	一五八,〇〇〇	一八,四三
日本橋・京橋	一〇,三四九	一一二,〇〇〇	一四一,〇〇〇	八,二二
葛飾	二〇,二四二	一三三,〇〇〇	一八八,〇〇〇	三三,七八
江戸川	一七,〇〇二	一四七,〇〇〇	一六三,〇〇〇	四六,八一
合計	三,四七,七九五	三,五二九,〇〇〇	三,九一三,〇〇〇	五七,七六一

3452

米國大學の基金

昭和二十一年十一月三日



ハーバート大學

七千万弗

コロンビア大學

六千万弗

エール大學

四千二百万弗

千万弗以上の大學は
無數。大學土地の
廣さ大凡ニタウシテ
即ち我が日本の約二
里七町四方である

日本大學々生
身長五尺三寸

一時間ニ二里乃至

二里四分の一を歩む



米國

大學々生

身長六尺乃至

六尺五寸

一時間ニ二里を歩む



3453

十九の少年等十一万円を持ち出して
豪遊したが、何の珍らしくも無い

昭和二十一年十一月八日



三人少年各
自十一萬円
を拵て家出す
ソト帽 三五円
背廣 二五〇
靴 七〇〇
腕時計 二〇〇
ボトシヤ 二三〇
タクシーで箱
根に乗り込
み連日豪遊
十日に五万
円を使つて
親に連れ戻
された



8454

何處までインテは騰る

昭和二十一年十一月二十日



驚く勿れ

まぐろ一貫目 八百円

牛肉一貫目 六百円

家屋瓦二枚 十五円

二寸釘一本 十五銭

家屋 一坪当り中以上 二万円以上

同下の上 一万円以上

同下の下 五千円以上

北海吏

「馬鹿にたかいです。」

買い度いが八百円が

もろか、百円れも

持ち合せがよい。



職人

「これが

八百円がついては

牛肉一貫目の六百

円を買入ほう。牛ヨット

五千円許りの持ち

合せがあるから



3455

三十六炮愁色美あり

昭和二十一年十一月二十二日



国運是而非、天象暗而陰、地味肥而枯、
衣裳縷而臭、食餌鮮而腐、居住破而崩、
電氣明而暗、汽車快而跛、財貨溢而乏、
物資有而無、政府暴而迂、國民忠而逆、

仁人泣而嘆、

礼人蒙而報、

信人進而蹶、

農民衝而苦、

商賈欺而慊、

愚人鈍而直、

貧困飢而乱、論客辯而訥、學究誇而醜、

賤奴媯而喜、樂人舞而倒、狂人醉而打、

學生漠而漫、兒童無而知、盜賊奪而走、

神明輝而消、佛陀華而凋、八炷顧而頷、



義人怒而憤、

智人笑而泣、

英雄嘯而笑、

工匠鑿而粗、

賢人狡而曲、

富豪驕而疾、

3456

日本国民が歪めば
日本地図も歪むぞ

昭和二十一年十一月二十四日



日本の
地理も、
無神経
に赤れば、
從横幹
線も、無
茶苦茶
にある。

朝鮮

釜山



3457

迫る電力危機

昭和廿一年十一月二十七日

傳統消滅。郎息微光



森林を

濫伐したる

報ひあれ

水も溜らぬ

頭を

打たれて

泣きつらに

蜂にさされて

水不足

	東京	大阪	神戸	京都	名古屋	横浜
主食品	100.0	161.1	110.0	173.9	104.7	
食糧品	100.0	132.5	127.7	127.6	108.3	
身廻品	100.0	113.3	125.4	100.2	90.7	
家具設備品	100.0	139.6	133.9	97.0	90.4	
雑貨	100.0	118.2	170.9	129.7	119.5	
総合値	100.0	129.5	132.5	121.5	103.2	



3458

六大都市やみ物物價指數
 (十一月十三日調)
 昭和二十一年十二月五日



む進に西りよ東は値聞



生活安定不安定者

	安定	不安定
事業経営	66%	34%
商工業	67%	33%
給料生活	32%	68%
賃金労働	45%	55%
自由業	63%	37%
地主	42%	58%
自作農	76%	24%
小作農	67%	33%
漁夫	40%	30%

失業者 716000

内訳	労務者	537000
	知識階級	179000
無就業		485000
一ヶ月一月中働かぬ者		157000
ブローカーや日傭人		231000
本年四月より年末まで引揚者		152400
昭和二十年十月以来就職斡旋	求職	435000
	求人	555000
	就職出来た者	135000

3459

昭和廿一年十二月九日

東京都の失業者七十萬人



3460

年末の狼狽

昭和二十一年十二月十五日



早大動揺
苦辛慘憺

追放される銅像

東北大雪
奥羽越
信越
車輜
八本
運休

追放される
労働団体
全国約三万人



3461

十二月二十二日調査	合計	三重	岐阜	愛知	高知	愛媛	香川	徳島	廣島	岡山	福根	鳥取	滋賀	奈良	和歌山	兵庫	大阪	死亡	金額
	七八五八七二	九一一八	一一一	九一五六	二九九一五七七	二四七八	五二六六	一六一九九一	一七八	四九七七	八九四	五二一六	五三八	三一六四	六六四四三	五〇五六九	二五二二七		

一四九六八	一四六二二	流失	家屋破壊
-------	-------	----	------



大地震十二月
昭和廿二年十二月
午前四時

十二月十四日調査
死者 一〇八八
家屋全壊 七三五〇
嚴重 六六〇
四國山陽の
佐田城

	昭和二十一年十二月	二十一年八月	二十一年十二月	公定
米 一升	59.20	84.06	60.00	5.89
甘藷 一貫	17.90	45.00	13.00	5.00
大根 百匁	0.83	1.60	1.50	0.54
白菜 百匁	1.90	1.90	3.50	1.00
豚肉 百匁	21.80	39.00	45.00	30.00
卵 一個	3.90	5.00	7.50	3.00
味噌 百匁	5.66	10.00	13.00	0.80
醬油 一升	58.40	109.07	120.00	6.00
清酒 一升	215.10	230.00	350.00	40.00
ビール 一本	16.00	30.00	7.00	6.00
人革靴下 一足	18.00	18.50	25.00	4.50
手拭 一本	13.90	19.00	23.00	2.20
木炭 一俵	66.80	77.00	125.00	35.00
四角球 一個	15.70	23.75	24.00	7.60
石鹼 一個	9.20	9.34	13.00	0.75

3463

物價高低不一

昭和二十一年十二月三十日



3464

今年の経歴

昭和廿一年十二月三十一日



● 平田和子(嫁大塚氏)

☒ 内村達次郎

☒ 林 精

公の私事業

東京帝大工学部嘱託

五月

早稲田大学理工科商議員

五月

東方文化学院理事

一月

平和の鐘樓競技審査

十二月

古建築と新建築

雑誌 建築文化

法隆寺

新聞

賢と愚

新聞

正倉院

新聞

干支の一片

新聞

方位と家相

奈良市 高野文
脚鏡

支那建築談(定期)

東京帝大

講演

雑誌新聞の投稿

寂莫たる今年の経歴、家庭と共に
寥々たり嗟乎、時に鼎の湧くが如き
全国民の動搖、天柱折れ地維欠く。此
の間に如何ぞ悠々自適し得べけんや。

3465

除夜の鐘・處業無情

昭和廿一年十二月三十一日



3466

逝ける人

自七月一日
至十二月三十一日

昭和廿二年十二月三十一日



今井五介 88	大瀧龍五郎	昌谷 彰
内村達次郎 79	木村徳衛 76	上泉徳弥 84
矢野道也 71	三宅 速 79	杉山平助 53
中山小三郎 92	藤原松三郎 66	楠本長三郎 76
伏見宮博隆 72	眞野文二 86	川上貞奴 76
渡辺水巴 65	牧野虎雄 57	中村精一 73
須永 好 53	岩倉道具	小泉恭次 61
香田勝太 61	冷泉爲系 66	山本武藏 62
一柳悦三郎	黒川新次郎 72	桑木嚴翼 73
野満隆治 62	塚原政次 75	布施現之助 67
和辻春次 84	井出謙治 77	三井守之助
尾崎有正門 61	元良信太郎 65	鶴見左右雄 72
尾佐竹猛 67	瀧田初太郎	福井菊三郎 81
加賀山辰四郎 79	桑原信助 63	菅原通敬 79
窪田静太郎 82	雪山俊走	杉山平助
河井仙郎	近藤萬太郎	黒板勝美 73
榮 厚	桑原信助	福井菊三郎
大村卓一	盤瀬雄一	
山本鼎 65	堀切善次郎 65	

3467

昭和丁亥の元日

昭和二十二年元日

丁亥は火の年
と猪



丁は「ひの」と、即ち
「火の弟」にて火は猛に
至らず（前年丙戌の
丙は火の尾にて猛
烈あり。亥は猪
猪は猪突、猪勇
よどの性質、即ち
丁亥は、干支を
綜合すれば、干

の丁は、火は
下火にあるが

支の亥は

おほ猛烈

あり。

昭和二十二年

年の運

命は、恐

らくは

（干）に於

て熱烈

やと緩お

るも、（亥）に於て血氣
の暴発を振ふこと
あるべし。



一里塚

眞途無ければ

門松もあし。

破勇
敏餓鬼

3468

曠籠
燃餓

昭和二十年五月 忠大



3469

廢墟ある哉東京都
 續々凍死横死・變死・病死
 昭和二十二年一月八日



米人曰く

嗚呼日本の大都會に凍死者陸續たり。しかも一餐糞糞千円の贅沢者流少ふからず。日本政府は恬として傍觀するは何ぞや日本の蠻国あること照々として明あり。

日本官吏曰く

上野駅の地下道に凍死者の陸續たるは憐むべきも己むを得ず、一餐数千円の贅沢は羨むべきも己むを得ず、日本の現状は斯くの如くである。

上野地下道内
 浮浪者約千
 五百名は
 都内十ヶ所の
 収容所に送
 られたり



3470

學生生活費

東京帝大法學部學生

昭和二十二年一月十五日



全學生

二八〇〇名

生活に堪へず休學

八〇〇名

登校すれども毎日聴講出来ず

二〇〇〇名

會社員

二三%

無職

二〇%

戦災家族

二八%

教員、医師、インテリにあへぐ中産

一三%

その他

一六%

一ヶ月の生活費

三〇〇円—六〇〇円 六三%

贅沢の一ヶ月生活費

六〇〇円以上 二〇%

平均の生活費 四五〇円—五〇〇円

三百円以下は殆ど自宅へ通學生

生活費標準五〇〇円の場合、食費 三五〇円

文化費 五〇円

下宿費 一〇〇円

生活費送金平均二〇〇乃至三〇〇円

ある時は書冊・日用品を賣却して補給す

生活費と生活費の内容

學生出身

學生數



3471

二月の國乱を覺悟せよ

昭和二十二年一月二十日



大變ふ
ことだあ

諸君よく聴け

二月ゼネスト

内閣壊倒

電力消滅

石炭

鉄

交通

通

社

激騰

國

辛

國

應

ドントコ

鈍漢

何だ？人を

驚かす鬼

面だあ

「こりや
恐ろしい
ことだあ」



3472

壘宇教・天變地異乎

昭和二十二年一月廿四日



石川縣の怪教壘宇教
教長壘光尊

名は長岡良子

天照大神の化神にして

天照大神を中心とし

世界は一ありと称

シラフあり

怪むべし

且清源と双葉山

は魅せられて

狂顛茫然

地異
天變

の世の
中とは申せ

この狂

教には

驚くべ

きである。



3473

鶴の一聲、ゼネスト鎮壓さる

昭和二十二年一月三十一日



同盟罷業
ゼネストで
世の混濁を
革正するの
です。

マッカーサー
コラ、
ゼネスト
は止めろ、

そんな
馬鹿騒ぎ
をすれば
追放するぞ。



3474

寒明けて立春の豆まき

昭和二十二年二月四日



甲
「鬼は内、
福は外、
鬼の目
玉を
ぶっつぶせた。」



乙
「鬼は外、
福は内、
福の目
だまをぶっ
つぶせたよ。」



3475

米國穀物輸出三月分

昭和二十二年二月七日

單位：千噸

イタリヤ	二四六七〇〇
ドイツの米英領地	二四四三〇〇
日本及琉球	一三〇〇〇〇
英國	八五五〇〇
インド	七九〇〇〇
太平洋の占領地	五五九〇〇
ドイツの仏占領地	四〇〇〇〇
朝鮮米軍地帯	三三〇〇〇
中国	八六〇〇
△合計	九二二八〇〇

米穀は象の如し



日本は瘦狗の如し



3476

青少年犯罪

昭和二十二年二月十日



昭和二十一年青少年犯罪
二千二百九十件の統計

八才 窃盗

九才 放火

十一才 横領

十二才 傷害、強盗

十四才 猥褻、詐欺、賭博

十五才 強姦

十八才 殺人

二十才以上

何をやるか

恐るべし



八才児



十一才児



十八才青年

3477

野犬女子を喰ふ

世田谷烏山の野犬三頭サオの女子を喰ふ
昭和二十二年二月二十日

忠犬

悪漢

善人を

喰ふは悪むべし。

野犬の女子を

喰ふは

恐るべし。



3478

幾度か公職追放調査

昭和二十二年二月二十二日



双籍現籍年齢は、
身長体重は、
健康の程度は、
官歴は如何に、

その経過は如何、
軍事に關係ありや、
政界に關係ありや、
会社關係等に關係あり
や、

会長理事・評議員等は
任せられし事ありや、
親戚・友人等に借入ありや、
賄賂等の事ありや、

何等か刑罰を受けしや、
窃は刑を脱した事あるか、
如何なる趣味を有するや、

趣味の場は何を爲たるか、
彼の遊戯する人は誰、
遊戯者の場は失敗ありや、

如何なる著書あるか、
著書の外に雑稿あるか、
その内容は？その部数は、

その定数は、
汝は講演せしかその聴衆
は如何なる人か、幾人あり
しや、講演の内容は何、

汝は諸外國を遊歴せしや、
その目的は如何、
如何なる利益を得たるか、

如何なる利を得たるか、
如何なる利を得たるか、
如何なる利を得たるか、



佛教を崇敬するや、
如何なる利を得たるか、
如何なる利を得たるか、

3479

財閥日勢力五十六名

追放の指定

昭和二十二年二月二十四日

十財閥

三井家	高公以下	十二人
岩崎家	久弥以下	十二人
住友家	吉左衛門以下	四人
安田家	一	以下十人
浅野家	総一郎以下	四人
大倉家	喜七郎以下	四人
野村家	文英以下	四人
中島家	知久平以下	五人
古河家	從純以下	二人
鮎川家	義介以下	一人

必ざしの罪罰

に非ず、

財力跋群の

爲であらう。



品目	ヤ三値(円)	ヤ三値の比	品目	ヤ三値(円)	ヤ三値の比
米 一升	60-65	12.3	塩 一貫	100-160	29.6
麥 一升	35-45	11.8	食用油 一升	200-300	33.9
小麥粉 一貫	150-180	11.1	茶 百匁	25-45	2.2
きつふ芋 一貫	25-30	8.3	日本酒 一升	300-400	11.9
じゃが芋 一貫	30-40	7.1	ビール 一本	50-80	11.0
かぼちや 一貫	10-20	0.9	煙草 二十本	40-60	19.9
大根 一貫	10-20	2.1	絹糸 十匁	25-35	1.4
牛肉 百匁	70-90	2.0	足袋 一足	80-120	72.7
鳥肉 百匁	80-90	1.8	手ぬぐい 一本	30-50	17.7
豚肉 百匁	80-90	2.9	革靴 一足	500-900	7.1
卵 一個	8-10	2.5	下駄 一足	50-90	5.0
バター 一ポンド	100-130	2.1	石鹼 一個	10-20	7.4
乾海苔 一帖	18-22	2.0	炭 一俵	130-200	4.3
かつおぶし 百匁	60-80	5.0	薪 一束	20-30	3.7
砂糖 一貫	1500-2000	37.5	マッチ 小一箱	4-5	14.9
みそ 一貫	150-200	9.7	電球 一個	25-35	4.0
よろ西 一升	50-130	24.7	真空管 一個	100-200	2.2

3480

ヤ三値の平均(公價の約十二倍)
 (一昨身九月の最高大倍、平均は三倍半)
 昭和二十二年二月二十四日



3481

高麗川駅大事故

脱線轉覆死傷約一千名
昭和二十二年二月廿五日

八王寺↓高崎
の線路を走る流
車、六臺編成は、
前の二台の連結から
後の四台が外れ高
さ五メートルの崖
から墜落し、前の
二台を引つ張つた
まゝ高麗川駅に入
りて大車を発見、
二五〇の急カーブ、
千分の二十の下り坂、
五十キロの速度にす
る筈が、過重にあつて、
五十三キロになつたの
でこの惨状を呈
した。死者百七十八人
重傷三百人
軽傷五百人



3482

東京都三十五区を二十二区に改め区名の一部を革む

昭和二十二年三月四日



旧区の数と減区、合併の新区に命の名セシヤその名は面白くないものもあると言ひ

合併	新区名
麹町・神田	千代田
日本橋・京橋	中央
芝罘年・赤坂	港
四谷・牛込・淀橋	新宿
小石川・本郷	文京
下谷・浅草	台東
本所・向島	墨田
深川・城東	江東
品川・荏原	品川
大森・蒲田	大田
瀧野川・王子	北



3483

天地顛倒・宇宙朦朧

昭和二十三年三月十日



兒童は自動あり
 女子は男子を挑む
 男子は女子を玩ぶ
 子弟は教師を愚弄す

學生は樂生か

學者は弱者に托す

盜賊は党族あり

藝人は睨人あり

政治家は青兒家あり

官吏は閑理にあり

商人は不証人あり

技術家は戲術家あり

浮浪の徒は不勞の賊あり

金満家は禁萬か

議員は偽員あり

大臣は代人あり

賢員人は猿人あり

贅沢は税託

貧乏は茶暴

欺瞞は機漫

天地は轉知

宇宙は迂冲



区名	人口	面積(畝)	区名	人口	面積(平方キ)
千代田	㉑ 75109	⑮ 11.38	世田谷	① 351711	② 60.76
中央	㉓ 123172	㉒ 8.23	渋谷	⑱ 124161	⑰ 13.24
港	⑬ 150193	⑪ 17.20	中野	⑫ 159665	⑬ 15.41
新宿	⑭ 138043	⑨ 18.51	杉並	③ 277961	⑦ 34.10
文京	⑯ 133832	⑰ 10.93	豊島	⑮ 135341	⑯ 13.26
台東	⑪ 162117	⑳ 10.31	北	⑧ 191804	⑧ 21.18
墨田	⑰ 132827	⑮ 14.28	荒川	⑱ 128350	㉑ 10.57
江東	㉒ 72044	⑩ 18.42	板橋	④ 273399	① 80.68
品川	⑦ 207371	⑫ 15.96	足立	⑤ 220884	③ 53.52
目黒	⑩ 166268	⑭ 14.72	葛飾	⑥ 216799	⑥ 35.78
大田	② 301711	⑤ 45.53	江戸川	⑨ 178961	④ 45.81

3484

東京都二十二區覽

昭和二十二年三月十五日



3485

米國日本の窮乏を憐れむ

昭和二十二年三月十九日



日本の
神靈

「日本は今混沌
暗黒です、
全国民は
殆どまへて餓死
するかと思ひます、
ドーン憐れと思し
召して、御國を
救ふて下されや。」

米國の慈

善者

「それは誠にお気の
毒です、出来る丈
け助けてあげま
しやう。米國の
財産は無量
ですからね。」



3486

臥薪嘗膽

昭和二十二年三月二十一日

低農

日本を占領し、日本の名士を逃放し、日本の公館
邸宅を横領するふど、凡て日本を亡ぼすので
はありましネーか？

知士

いや、それは日本
を滅亡し、国民を
殲戮する
といふので
はあゝい。
暫く臥
薪嘗膽。
て我慢すれば
数年の後は
日本も恢復
することは
當然である。

いや、それは日本
を滅亡し、国民を
殲戮する
といふので
はあゝい。
暫く臥
薪嘗膽。
て我慢すれば
数年の後は
日本も恢復
することは
當然である。



東京十五区の人口

区名	明治卅一年末	大正六年末
麹町	81966	65863
神田	126282	168883
日本橋	137424	150070
京橋	138793	171748
芝	128665	191818
麻布	54539	100237
赤坂	47911	66155
四谷	43427	66034
牛込	54324	170873
小石川	56637	173204
本郷	84220	124757
下谷	112195	202765

東京のつゞき

大政四区の人口

京野区人口

区名	明治卅一年末	大正六年末
淺草	139955	266149
本所	32251	247533
深川	102127	183711
合計	1440121	2349830
西	217382	421823
南	243552	478088
東	169722	303130
北	190579	354945
合計	821235	1557986
上京	161877	292709
下京	191262	270138
合計	353139	562847

3489

昭和二十二年三月二十二日

榮枯盛衰(既往三府人口)



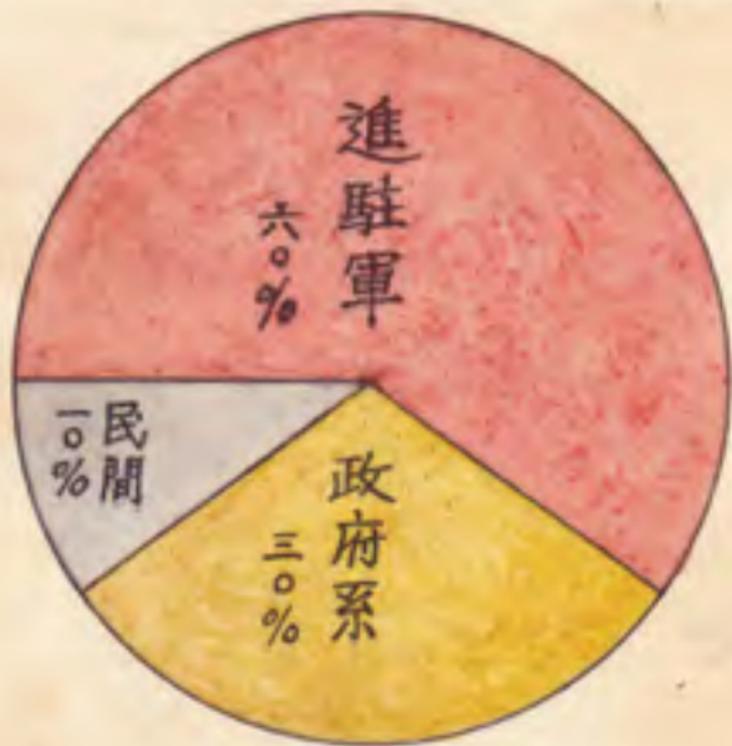
3488

日本石炭の發掘量

昭和二十二年三月三十日



日本石炭發掘量六〇%は進駐軍に供給
 し、殘餘の三〇%は政府系に消耗し、残り
 一〇%は七千万人の民間に分布すと謂ふ。石
 炭のみならず、食料も亦た民間に一〇%に過
 ぎざるを、否、何物も民間は孤零であるが、故に悪
 事を働らく、否、上流も亦た悪事を働らく。



3489

議會解散

昭和二十二年四月一日

(当日(三月卅日)の各派の分野)



民主	自由	社会	国協	無	共産	農	純	欠	合
一四五	一四〇	九八	六三	六七	四六	一一	一一	四六	四六





3490

人使禽獸を禽獸は人を虐殺す
昭和二十三年四月三日



紙の飢饉、出版業者悲鳴

昭和二十二年四月六日



戦後言論自由
と出版解放に伴
い出版事業者の
数は戦前二七〇
に對して三千に及
び製紙窮乏を以
て極に達し業者
に割當は二〇%
に當らず出版物
雜誌等は殆ど採
業に陥らんこと
愚につかぬ印刷
物は兎も角も必
要雜誌書籍等
に何とかくと兎に
あいか赤い血泣の
見ればあいの涙はら
はら腹の立つもの
是非はあい。

つまりは雑誌、
紙はさわるこ
破れるし、
活字は不
明で読め
ないし、
それ五千
円と思
へば三百
いや三千円
とは教馬いたね、



その雑誌は五十円だが
実は千金二千金の價は
三千世界の陽采の名文
を知らふいか？

3493

美音一聲萬金の遊女
研鑽三年一錢の學子徒
昭和二十二年四月十六日



3494

長野縣飯田市劫火

飯田市人口三万四千二百七十九
昭和二十二年四月二十日



全国参議院議
員選舉投票の
日、長野縣飯田
市火災、三千九百
八十四世帯、災害
者一万七千八百十四
損害約十二億円



3495

憲法の變轉斯の如し

昭和二十二年四月二十五日



内閣
「命令と
あるぞ
百姓、

昔

国民
「命令と
あれは
仕方が悪い、



国民
「衆議・参議の両院でま
めたりだ、命令と
あるぞ
大臣、

今

内閣
「命令と
あれは
仕方が悪い



3496

ソ聯と米の戦争近し？
昭和二十二年五月一日



3497

憲法發布

昭和二十二年五月三日



「劍砲發布は
止めるのである

「獻奉の發布を祝してめる
のだ



3498

戦々競々薄氷を踏み冷水を渡る

昭和二十二年五月六日



全国民悉く戦々競々、
悪人も竊に怖れ
善人も陰かに
詐はる



3499

有為轉變とかや

昭和二十二年五月八日



金国穢土に轉するか
 穢土金国に變ずるか
 清麗汚濁に轉するか
 汚濁清麗に變ずるか
 英雄豪賊に轉するか
 豪賊英雄に變ずるか
 學究儒辯に轉するか
 儒辯學究に變ずるか
 識者愚鈍に轉するか
 愚鈍識者に變ずるか
 紳士乞食に轉するか
 乞食紳士に變ずるか
 純良兇惡に轉するか
 兇惡純良に變ずるか
 慎重狼狽に轉するか
 狼狽慎重に變ずるか
 美味猛毒に轉するか
 猛毒美味に變ずるか
 一死蘇生に轉するか
 蘇生一死に變ずるか



「臭香は芳香に
 變じおいらう」

「芳香が
 臭香に
 轉じるが」

3500

日本振興三策の辯

昭和二十二年五月十六日



治安の維持

智察案
の意知
が悪いた
らう



生命財産
の保護

姓名罪算
の歩團が



公衆道徳
の維持

姦真洞匿
の異餌が

